

東北地方 1か月予報

(7月25日から8月24日までの天候見通し)

平成21年7月24日
仙台管区気象台発表

<特に注意を要する事項>

期間の前半を中心に日照時間が少ない見込みです。また、気温がかなり低くなるおそれがあります。農作物の管理等に十分注意してください。

<予想される向こう1か月の天候>

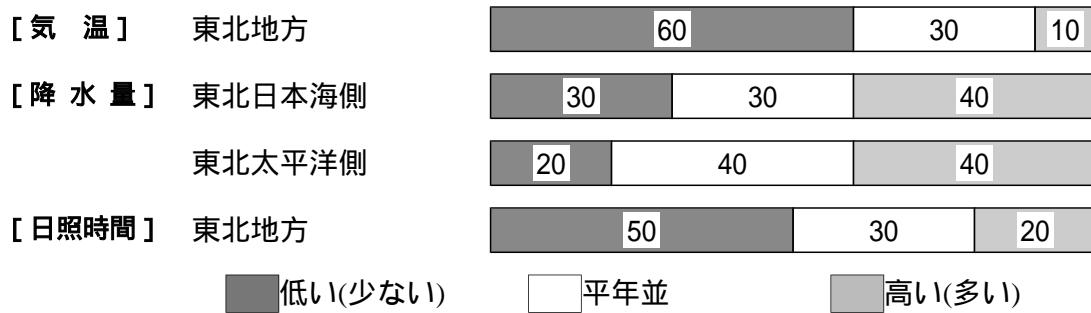
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

東北地方は平年に比べ晴れの日が少ないのでしょう。

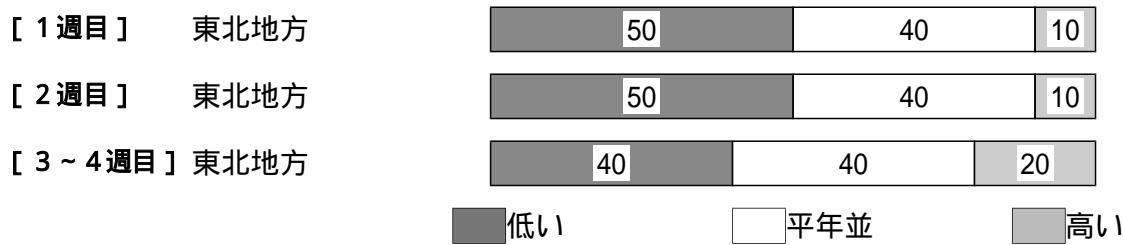
向こう1か月の平均気温は低い確率が60%です。降水量は東北太平洋側で平年並または多い確率がともに40%です。日照時間は少ない確率が50%です。

週別の気温は、1週目、2週目は低い確率が50%、3~4週目は平年並または低い確率がともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 7月25日(土) ~ 8月24日(月)

1週目 : 7月25日(土) ~ 7月31日(金)

2週目 : 8月 1日(土) ~ 8月 7日(金)

3~4週目 : 8月 8日(土) ~ 8月21日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は7月31日

3か月予報：8月25日(火) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
青森	23.2	120.5	194.3	23.2	23.7	23.2
深浦	23.3	149.1	190.3	23.3	23.6	23.3
むつ	21.8	120.5	159.2	21.7	22.2	21.8
八戸	22.5	122.5	180.9	22.5	22.9	22.5
秋田	24.7	164.0	202.6	24.7	24.9	24.8
盛岡	23.5	160.2	164.4	23.6	23.8	23.4
大船渡	23.1	157.9	168.4	22.9	23.4	23.1
宮古	22.3	148.6	171.6	22.1	22.6	22.4
仙台	24.2	148.9	159.0	24.0	24.5	24.2
石巻	23.5	107.7	180.9	23.2	23.7	23.6
山形	24.9	133.4	189.5	25.1	25.3	24.8
新庄	24.2	157.3	185.3	24.2	24.5	24.2
酒田	25.1	157.0	218.5	25.2	25.4	25.2
福島	25.4	130.4	164.1	25.5	25.8	25.4
若松	25.0	128.0	205.5	25.2	25.3	25.0
白河	23.5	195.2	158.7	23.6	23.8	23.4
小名浜	23.8	114.2	197.0	23.3	23.7	24.0

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5 ~ +0.6	75 ~ 122	90 ~ 110
東北日本海側	-0.6 ~ +0.5	77 ~ 113	91 ~ 113
東北太平洋側	-0.4 ~ +0.6	69 ~ 126	88 ~ 112

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.5 ~ +1.2	-0.7 ~ +1.2	-0.5 ~ +0.7
東北日本海側	-0.6 ~ +1.1	-0.8 ~ +1.1	-0.5 ~ +0.8
東北太平洋側	-0.5 ~ +1.3	-0.6 ~ +1.3	-0.5 ~ +0.8

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成21年7月24日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(7月25日～8月24日)：

東北地方は平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

寒気やオホーツク海高気圧の影響で、天気のぐずつく時期がある見込みです。

期間の前半を中心に日照時間が少ない見込みです。また、気温がかなり低くなるおそれがあります。農作物の管理等に十分注意してください。

平均気温は低い確率が60%です。

1週目(7月25日～7月31日)：

気圧の谷や梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多いですが、期間の後半は晴れるところがあるでしょう。

平均気温は低い確率が50%です。

2週目(8月1日～8月7日)：

寒気やオホーツク海高気圧の影響で、東北地方は平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

平均気温は低い確率が50%です。

3～4週目(8月8日～8月21日)：

寒気やオホーツク海高気圧の影響で、東北地方は平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

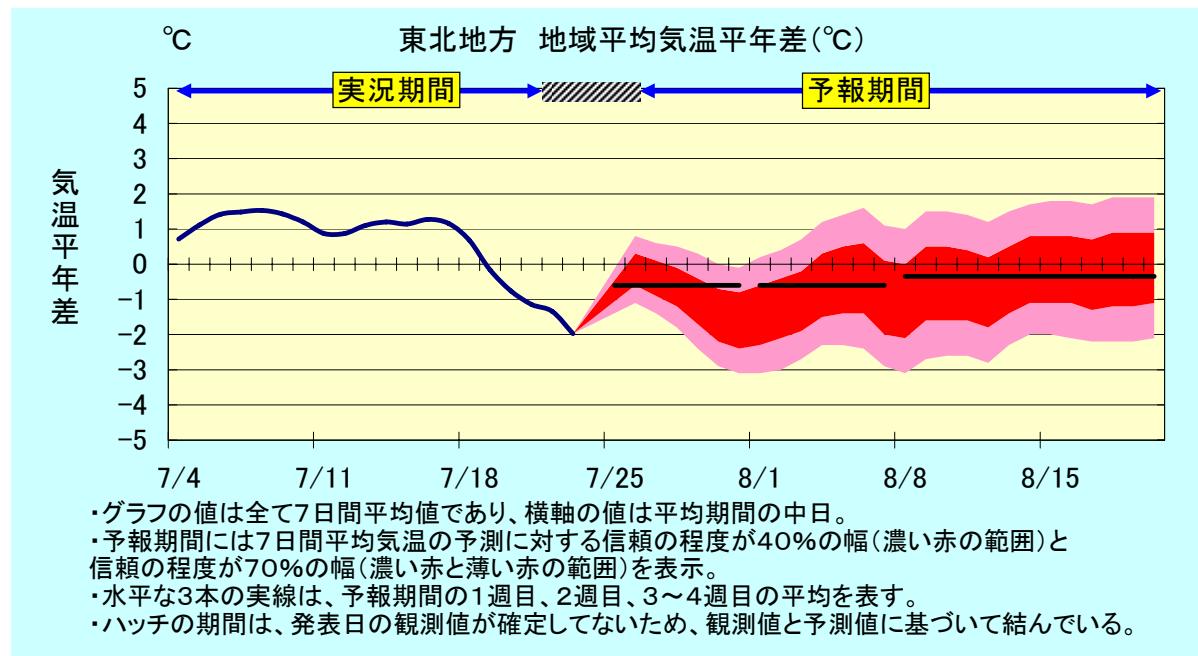
平均気温は平年並または低い確率とともに40%です。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3～4週目
東北日本海側	16.7日	4.2日	3.9日	8.6日
東北太平洋側	14.8日	3.7日	3.7日	7.4日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1週目、2週目、3～4週目とも平年を下回る予想となっている。

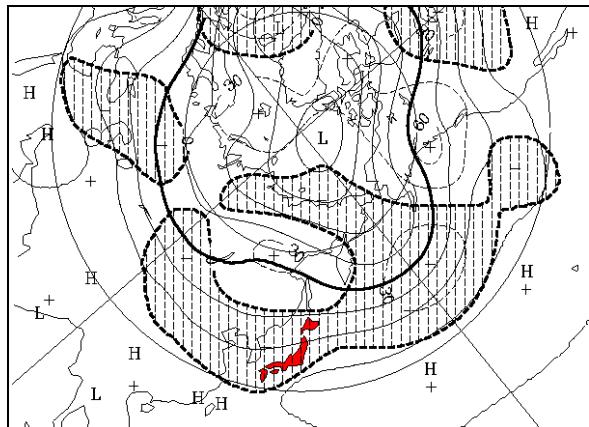


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

1か月平均: 日本を含む中緯度帯は帶状に負偏差で、オホーツク海付近は正偏差。寒気の南下とオホーツク海高気圧の影響が見込まれ、寡照と低温が予想される。

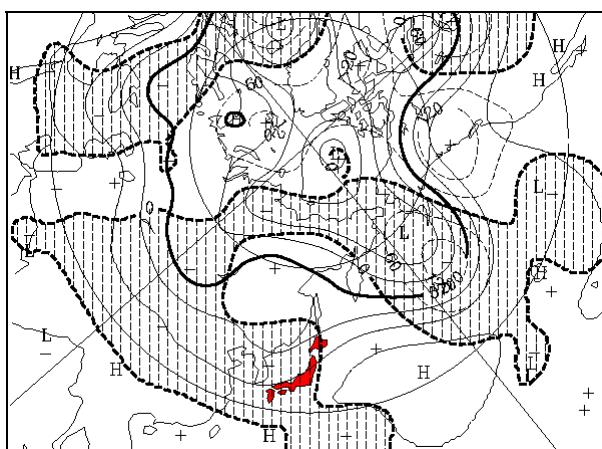
1週目: 日本の東海上は正偏差、大陸から日本付近は負偏差で西谷傾向。東北地方は、前線や気圧の谷の影響を受ける見込み。また、オホーツク海付近が正偏差で、期間の中頃からオホーツク海高気圧による影響も見込まれる。

2週目: 日本付近を含む中緯度帯は帶状に負偏差で、オホーツク海付近は正偏差。寒気の南下とオホーツク海高気圧による影響が見込まれる。

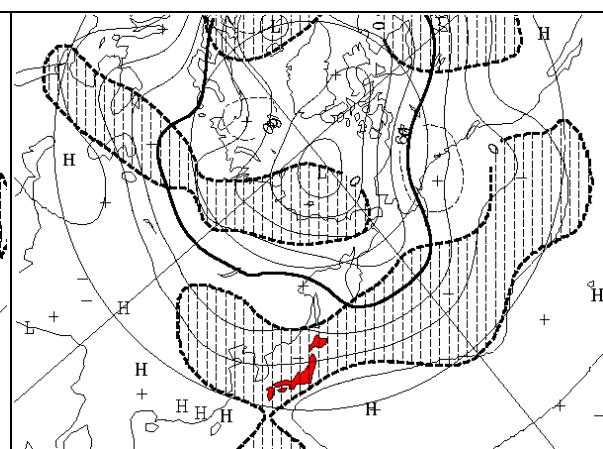


1か月平均 500hPa 予想天気図

(図の見方は1,2週目と同じ
ただし平年差の間隔は30m毎)



1週目平均 500hPa 予想天気図



2週目平均 500hPa 予想天気図

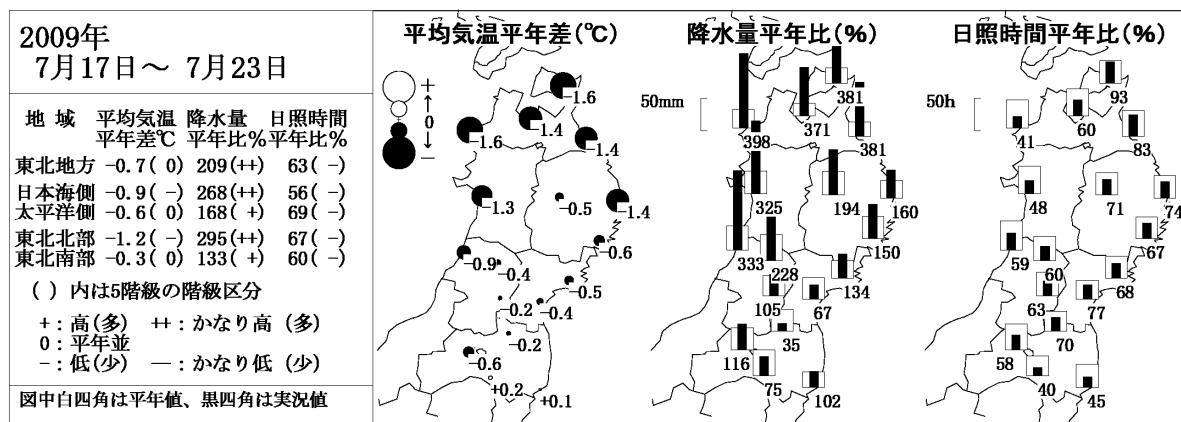
実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間 (7月17日～7月23日) の天候の経過

この期間、前線や低気圧の影響により曇りや雨の日が多くなった。特に、18日から19日にかけて、前線や低気圧の影響で東北日本海側や東北北部では大雨となり、秋田県、岩手県、山形県で浸水害や山がけ崩れ害などが発生した。また、期間の後半は寒気が南下したため、東北北部を中心とした気温は低くなった。

平均気温は東北北部で低く、東北南部で平年並。降水量は東北北部でかなり多く、東北南部が多い。日照時間は東北地方で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）